

継続して、タイや台湾で多古町の魅力を伝えています！

タイ

株式会社良品計画のタイ現地法人の協力を得て、タイ・バンコクの大規模複合施設「One Bangkok」内の「MUJI One Bangkok」で、11月1日(土)・2日(日)の2日間、多古米・やまと芋などの販売や試食、多古町のプロモーションを実施しました。2回目となる「多古町フェア in One Bangkok」は、前回は上回る多くの方々にやまと芋や多古米をご購入いただき、「やまと芋は芋なのに生で食べられるの?」「自分でおいしく多古米を炊くにはどうしたらいい?」「多古町ってどこ?何が有名?」など多くのご質問や関心をいただき、会場は大変にぎわいました。

「多古町フェア in One Bangkok」のにぎわいの様子▶



台湾

昨年に引き続き、今年も台湾最大の日本米輸入商社である「ダイサンコクサイ」の協力を得て、現地ショッピングモール内スーパーで、多古米の販売が始まりました。同社が開催する「日本新米祭」では、多くの方に多古米を試食・購入していただきました。今年は、多古米と並ぶ多古町の特産品であるやまと芋を使用したとろろご飯の試食も行い、台湾では珍しい食感のとろろと多古米の組み合わせが大好評でした。

また、台湾の若手料理人協会理事長の李思銘シェフにご協力いただき、台湾の料理人や飲食店経営者、食品仲卸業者など、食のプロを招いた「レストラン商談会」を開催しました。多古町の食材を用いた料理を食べていただき、その魅力をPRしました。



▲日本新米祭で多古米を販売

町では、持続可能な農業を実現するために、今後も輸出事業を推進していくとともに海外に向けて町をPRし、インバウンドの誘致にも取り組んでいきます。



▲レストラン商談会で多古町の特産品をPR



▲VRで多古町を体験

お問合せ●産業経済課経済振興係 ☎ 76-5404

探訪

うめすけの多古町

「わにぐち 鰐口は語る」



圏央道は千田で西へ向きを変えますが、田圃は東へ回り込むように水戸から島、船越と水ゆかりの名を持つ地を進みます。千田荘が文字通り水郷だったのを伝えてくれます。多古町が日本で二番目に耕地整理をした記念の絵画に描かれたのも島地区です。そして当時は東条村だった旧多古第三小学区の船越には、県下二番目の醸造所「船越ワイナリー」ができました。そのラベルには、水の里の象徴にふさわしいカワセミが描かれています。

なお、千葉県最初のワイン醸造所は横芝光町の齊藤ぶどう園さんですが、創業者は多古農学校、現在の多古高校で学んだそうです。町境を越えても多古町の歴史に相違ありません。また、前述の耕地整理を達成してもらった賞金が多古農学校設立の資金になったそうですから、多古高校は町とともに歩み、深く関わってきたのです。

集約した人がいました。その名は牛尾能登守胤仲。多古町商工会館近くの妙光寺さん入口に、胤仲が寄進した鰐口の説明板が立っています。鰐口とは、神社なら賽銭箱の上にある大きな鈴、あの役目をするものです。多古町教育委員会によりますと、胤仲は千葉氏一族の多胡城主、戦国時代から江戸時代初期まで実在した武将で、娘の病氣快癒を願って鰐口を寄進しました。

その鰐口が多胡表記もあつた証明であり、拠点とした場所(本貫地)を苗字にする実例であり、本名(諱)の上に形式的な役職を付けて名乗る見本となっているわけですね。同時に、戦を繰り返した武将といえども、娘が心配な一人の父親なんだと教えてくれます。

さて、千田界隈は幻の役場所在地でした。次回は多古町にあった『幻の県庁所在地』を訪ねましょう。どの地域か?…推理してみてください。

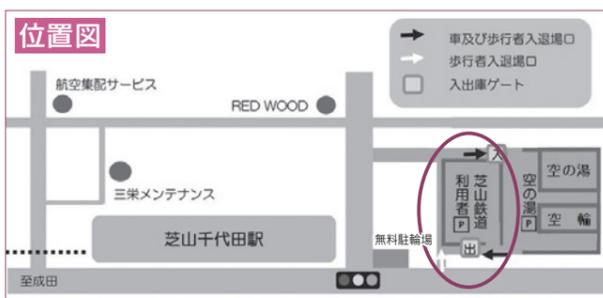
芝山鉄道利用者駐車場をご利用ください

多古町と芝山町は、芝山鉄道利用者駐車場を運営しています。

芝山鉄道を利用する多古町民はお得に利用できますので、通勤や通学、成田空港をご利用の際には、24時間年中無休の芝山鉄道利用者駐車場をぜひご利用ください。

■芝山鉄道利用者駐車場

利用料金表		日額利用 料金(24時間)	定期利用 料金(1カ月)
芝山鉄道利用者	多古・芝山町民	200円	3,000円
	上記以外	300円	5,000円
芝山鉄道を利用しない方		600円	9,000円



日額利用方法

駐車場の入場ゲートで発行される駐車券を、芝山千代田駅内改札付近に設置されている**多古・芝山町民用認証機**に通してください。

定期券購入方法

定期券は、「成田空港温泉 空の湯」の向かいにある「自転車処 空輪」のフロントで販売しています。下記の必要なものを持参の上、購入ください。

必要なもの●①芝山鉄道の定期券または回数券 ②運転免許証

お問合せ●自転車処 空輪 フロント(定期券の申込先) ☎ 0479-74-3701

【受付時間】午前9時～午後5時(定休日なし)

空港まちづくり課空港地域振興室 ☎ 76-5408



詳しくはこちら